

# ほけんだより



今年は、梅雨が短く、真夏日続出で、既に夏バテ気味の方も多いと思います。子ども達は、水遊びを楽しみにしているので、熱中症計とにらめっこの毎日になりそうです。

7月は「文月(ふみづき・ふづき)」とも言います。稲穂が実る月「穂含月(ほふみづき)」が変化したという説や、七夕の時期に短冊に詩歌をしたためて書の上達を祈る風習からなど、由来は諸説あるようです。今は書の上達ではなく、様々な願い事を短冊にしたためるようになりました。玄関に飾られている短冊を見ると、とても微笑ましく、楽しい気持ちになります。みんなの願いが叶いますように。



## 感染症情報

溶連菌感染症 5名



※溶連菌感染症の発生がぽつぽつと続いています。溶連菌感染症は、A群溶血性連鎖球菌という細菌に感染する事で、発熱・のどの痛み・発疹等が現れる病気です。発熱を伴わない、または、微熱程度という場合もあります。罹患時は、抗生剤の服用による治療を行い、症状消失から24時間以上経過後より登園が可能となります。罹患後の登園時には、医師の意見書の提出をお願いします。



水痘(水ぼうそう) 4名



※都内でも水痘(水ぼうそう)の報告が増えています。麻疹(はしか)ほどの感染力はありませんが水痘も空気感染をする為、同じ空間にいただけでうつる可能性があります。潜伏期間は2週間程度と長く、頭や顔からかゆみの強い発疹が出始め、身体、手足へと広がります。2回の予防接種を受けていても、10~20%は罹患すると言われています。特に、接種から時間が経過している幼児クラス~小学生での発症が目立っています。まだ2回の接種が済んでいない場合は、早目に受けるようにしましょう。

## あせも予防のポイント

子どもはたくさん汗をかきます。汗をかいたまま放っておくと、汗腺に塩分やホコリが詰まって炎症が起こり、あせもができてしまいます。

特に首元、脇、肘・膝の裏、下着の締め付け部分などにしやすいです。

- ◎ 汗をかいたら乾いたガーゼやタオルで拭く
- ◎ 通気性が良く、汗をよく吸う肌着を着る
- ◎ こまめにシャワーを浴びる



あせもができて、ひっかかないように伝えましょう。冷たいタオルなどで冷やすとかゆみが和らぎます。

